

木陰を象る 一原風景としての集会所の提案一



00. 人が集う場所の原風景

大きな木が立っている壁も扉も、私のために用意された椅子も当然ない。ただ葉が茂り、空間とも言い切れない場所があるだけだ。

それなのに、なんとなく通ってみたい、なんとなく心地よさそうと本能的に感じる。あちらの木の下では、子供たちが遊んでいる。こちらの木の下では老夫婦がいっしょにご飯を食べている。

大きな木の下は誰もが行ってみたいと思え、どんな行動も受け入れてくれる、自然と人が集う場所の原風景ではないだろうか。

01. 人が集う原風景としての集会所

特定のだけだけでなく、まちのみんなが使うことができる場所として、多様な発想を受け入れ、みんなが思い思いに過ごすことができる集会所。それは、自然と人が集う大きな木の下のおおらかで、どんな活動も受け入れる、壁も扉もない、ただ上屋根がかかっているだけのような集会所ではないだろうか。

■大きな屋根だけあのような集会所
奥行2間、幅14間の躯体に1間ずつの軒があるおおらかな屋根が乗っただけのようなリニア集会所を提案します。大きな屋根のあるリニア集会所は人を屋根下へ誘い、居場所を提供します。

■リニア形を活かした集まり方
一般的な集会所ではきちんと机が並べられ、他人と距離を感じながら座ります。一方、リニア集会所の場合、自然と他人との距離感が近くなります。また、1つの空間の中に様々な居場所をつくることができます。

■木の下に集まるように
奥行が長く、土間と軒下が長く伸びる集会所は、戸を開けることで外部と繋がります。内外が一体になった集会所には木の下に集まるように自然な集い方ができます。

02. 住民によりつくりだされる集会所

■多様な集まり方ができる集会所
空間の区切り方を変更可能にすることで、その時々に応じた集会所の使い方ができるようにします。近い距離感で話す場合や、大きな屋根の下に人々が集うような多様な使い方ができます。

■団地におけるゆるい繋がりをつくる
団地には幅広い年齢、様々な生活スタイルの人が住んでいます。そのため、団地に住んでいる人同士が直接会わないときでも繋がることができ、直接会えば助け合うことができるような仕組みを提案します。

■住民が決める管理の仕方
現在の集会所は、基本的に全体が施設されており、住民が日常的に使える場所はあまりありません。本提案では、全体の施設に加え、住民がセキュリティラインを決定できるようにすることで住民の日常利用が可能な計画とします。

①完全に全体を施設し、使所、倉庫の内部アクセスが可能
②集会所、倉庫を施設し、通り抜けが可能。日常的にトイレを利用できる
③特定の人が利用するとき、全ての扉を開くことができる

03. 自然と人が集い、思い思いに過ごすおおらかな空間

・フラットな土間
軒先から内部まで段差がないバリアフリーな土間を提案します。

・収納家具
イスの座面下部を収納スペースとし、よく使用する備品を集会所スペースの身近な部分に収納します。

・コンクリートベンチ
基礎を立ち上げたベンチは、集会所が施設されている時間帯でも外部から住民が利用することができます。

・外水栓
集会所の周辺で遊んだ子どもたちが手洗い場として利用するほか、集会所周辺の植栽への水やりにも利用できます。

平面図 S=1/100

短断面 S=1/75

屋根: ガルバリウム鋼板シート・防水耐火野地板
壁: 中空ポリカーボネート透光性断熱材 / 中空ポリカーボネート
土間: コンクリート金コテ仕上げ

（面積表）
延床面積 92.74 m²
集会所 79.46 m²
使所 10.24 m²
倉庫 22.11 m² (10m² × 高さ2mで計算)

▽ 最高高さ + 2.415
▽ 軒高 + 2.325
冬季（太陽高度 32.3°）
夏季（太陽高度 79.3°）
夏は軒下も日陰で涼しい、冬は日射を取り入れ、快適な環境をつくる

屋根のスパンを約6mに収め、1本の柱で抑えこむ

奥行きが長く、土間と軒下が長く伸びる集会所は、戸を開けることで外部と繋がります。内外が一体になった集会所には木の下に集まるように自然な集い方ができます。

04. 今後の計画にフレキシブルに対応する配置計画

リニアかつシンメトリーな構成で、裏表のない集会所は、今後決定される住棟の配置に対応して、様々な住棟の形や配置に柔軟に対応することができます。また、深い軒による長手方向の通り抜け、短手方向の通り抜けがあるため、あらゆる配置において団地内全体を繋ぎます。

05. ローコストで使いやすい集会所

必要最小限かつ合理的な構造、構法とすることでコストを抑えながら人々に愛される建築を目指します

■木造スパンのシンプルな構造
1,820mm グリッドのシンプルな形状

■管理しやすい倉庫配置
倉庫はオープン棚、座面下収納、浅い防災倉庫に分散配置することで目が行き届き、管理しやすくなります。

■土間床仕上げ・水廻りの配置
水回り 軒下から連続した土間

■多様な空間をつくる建具
雨戸（有孔ボード）
雨戸（黒板ペイント）
折れ戸
通動引き戸

コスト
基礎コンクリートを直金ゴテ押さえとしコスト削減し、シンプルならせん構造とすることで、材料・施工性の面でコストを削減します。また、1,820mm スパンで単純な平面形状にし、工期の短縮をはかります。

コスト
黒板ペイントがされた雨戸は、集会所の際の板壁、日常会話でのメモ書き、子どもにとっては自由に大きなキャンパスとなり、様々な場面で使うことができます。

コスト
基礎の立ち上がりを利用したベンチはコストを抑えながら、施設時でも使うことのできる居場所をつくりになります。また、使所、キッチン、足洗場の水回りをまとめて配置することで、インシャルコスト及びメンテナンスにかかるコストを削減します。

利用
運動引き戸のガラスは大きいガラスではなく、戸に対し4分割ガラスを使います。また、集会所内の折れ戸を閉め、集会所を分けて使い、空調コストを削減します。

利用
雨戸には合板を用い、黒板ペイント、マグネットペイントを施し、日常で様々な使い方が可能です。

